平成28年度「人生の終わりを考えるフォーラム in 豊川」
参加者アンケート

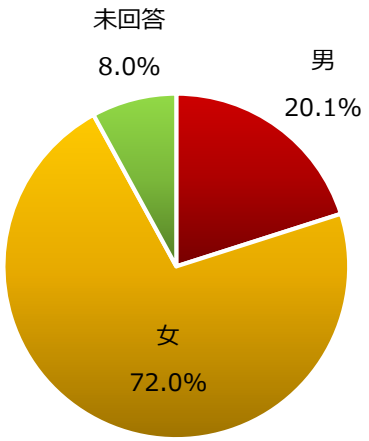
名　　称：人生の終わりを考えるフォーラム in 豊川
実　　施　　日：平成２８年９月２９日（木）１３：３０～１５：３０
延べ参加人数：３６９名
アンケート提出者数：２６４名
アンケート回収率：７１．５％

【アンケート回答者の状況】

※ 計算方法により、合計が 100%とならないことがあります。

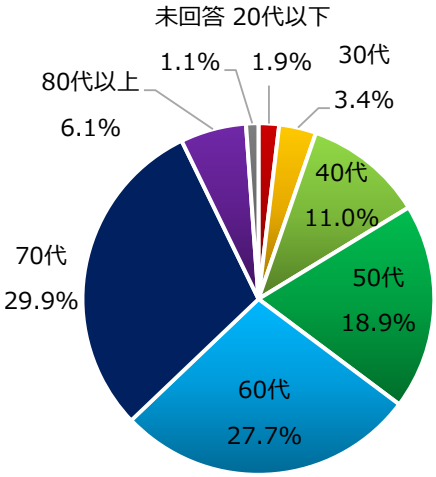
1　性別

男性:	53 名
女性:	190 名
未回答:	21 名
合計:	264 名



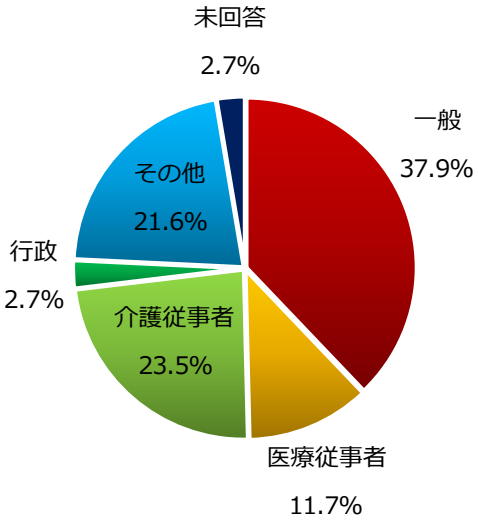
2　年齢

20 代以下:	5 名
30 代:	9 名
40 代:	29 名
50 代:	50 名
60 代:	73 名
70 代:	79 名
80 代以上:	16 名
未回答:	3 名
合計:	264 名



3　職種

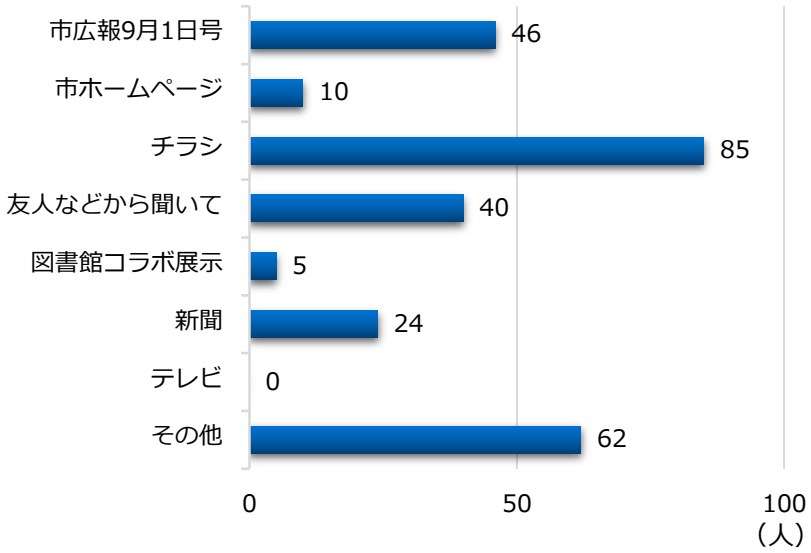
一般:	100 名
医療従事者:	31 名
介護従事者:	62 名
行政:	7 名
その他:	57 名
未回答:	7 名
合計:	264 名



【回答者全体でのアンケート結果】

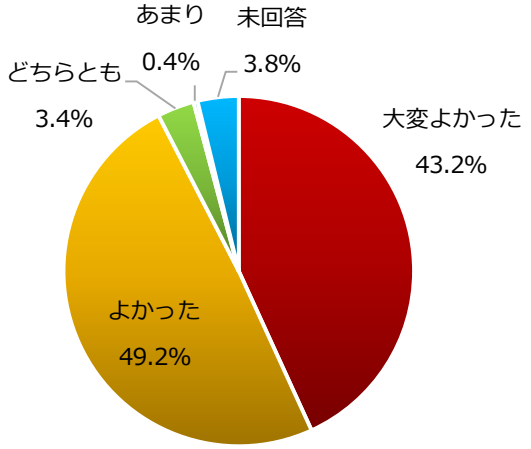
1　本フォーラムについて、どこでお知りになりましたか。（複数回答可）

市広報９月１日号:	46 名
市ホームページ:	10 名
チラシ:	85 名
友人などから聞いて:	40 名
図書館コラボ展示:	5 名
新聞:	24 名
テレビ:	0 名
その他:	62 名
合計:	272 名



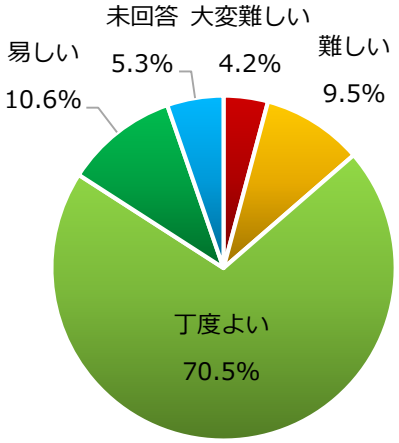
2　本日のプログラム中、創作落語「天国からの手紙」については、いかがでしたか。

大変よかった:	114 名
よかった:	130 名
どちらとも:	9 名
あまり:	1 名
未回答:	10 名
合計:	264 名



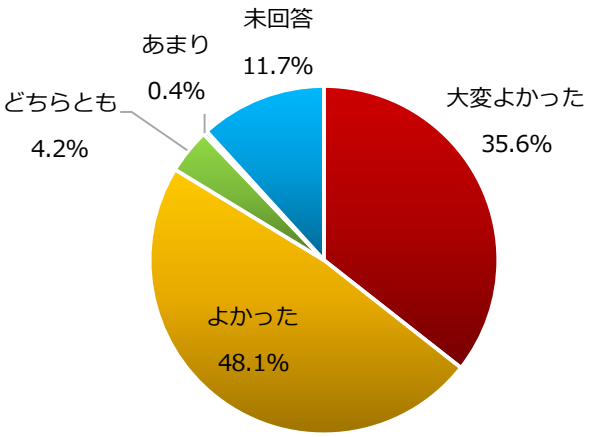
3　本日のプログラム中、第１部の中の「エンディングノートの説明」について、内容はいかがでしたか。

大変難しい:	11 名
難しい:	25 名
丁度よい:	186 名
易しい:	28 名
未回答:	14 名
合計:	264 名



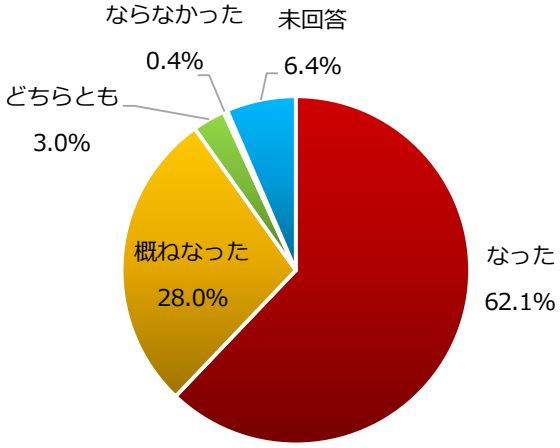
4　本日のプログラム中､｢パネルディスカッション　～様々な立場から語る在宅看取りの実際～｣については、いかがでしたか。

大変よかった:	94 名
よかった:	127 名
どちらとも:	11 名
あまり:	1 名
未回答:	31 名
合計:	264 名



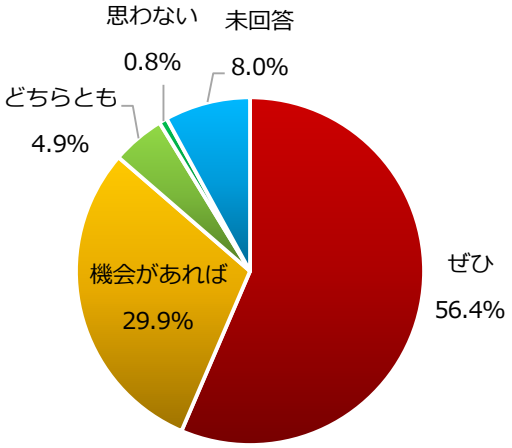
5　本日のフォーラムを通して、人生の終わりについて考えるきっかけとなりましたか。

なった:	164 名
概ねなった:	74 名
どちらとも:	8 名
ならなかった:	1 名
未回答:	17 名
合計:	264 名



6　本日配布されたエンディングノートについて、今後使ってみたいと思いますか。

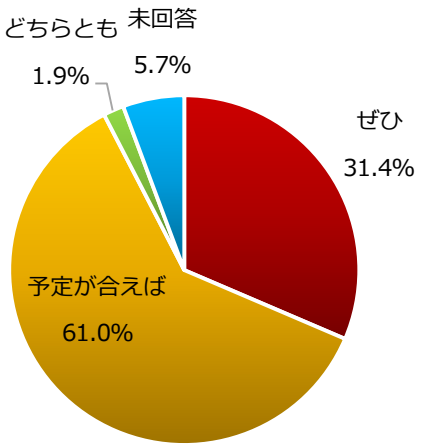
ぜひ:	149 名
機会があれば:	79 名
どちらとも:	13 名
思わない:	2 名
未回答:	21 名
合計:	264 名



“よりよく生きる”ために、エンディングノートを一つのきっかけとして、自分と向き合ってみてはいかがでしょうか。
　また、家族や周りの方と話題にすることで、新たな気づきも出てくると思いますよ。

7　次年度以降も、市民向けシンポジウム・フォーラム等の開催を予定しています。次回も参加したいと思いますか。

ぜひ:	83 名
予定が合えば:	161 名
どちらとも:	5 名
したくない:	0 名
未回答:	15 名
合計:	264 名

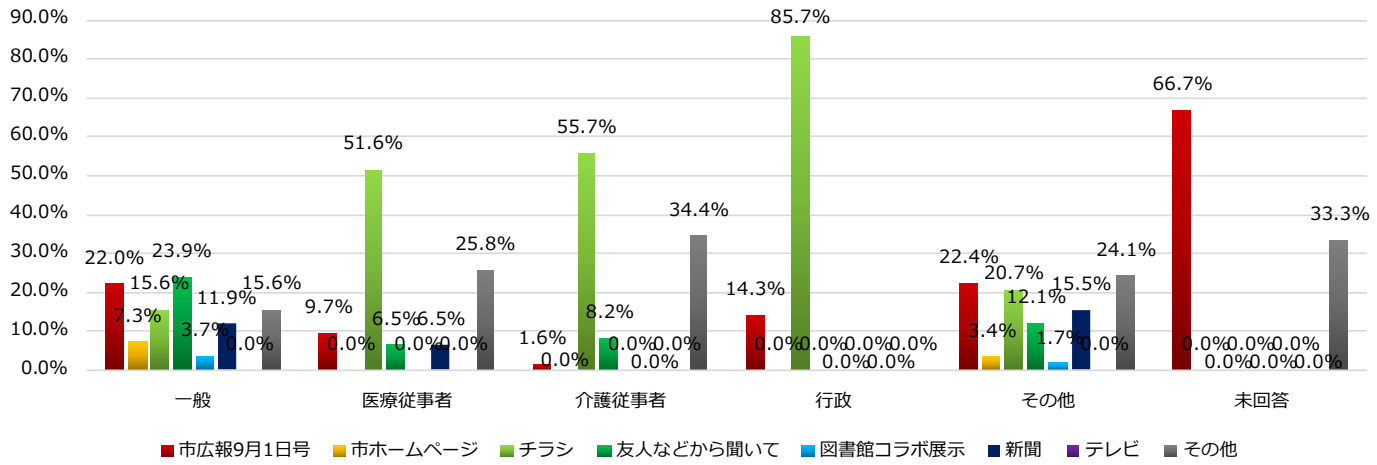


【アンケート結果 ： 職種別比率】

※ 計算方法により、合計が 100%とならないことがあります。

１　本フォーラムについて、どこでお知りになりましたか。

	市広報 9月1日号	市ホームページ	チラシ	友人などから聞いて	図書館コラボ展示	新聞	テレビ	その他	
一般	22.0%	7.3%	15.6%	23.9%	3.7%	11.9%	0.0%	15.6%	100.0%
医療従事者	9.7%	0.0%	51.6%	6.5%	0.0%	6.5%	0.0%	25.8%	100.0%
介護従事者	1.6%	0.0%	55.7%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	34.4%	100.0%
行政	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	22.4%	3.4%	20.7%	12.1%	1.7%	15.5%	0.0%	24.1%	100.0%
未回答	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
全体	16.9%	3.7%	31.3%	14.7%	1.8%	8.8%	0.0%	22.8%	100.0%



【事務局所感】

一般の方が本フォーラムを知ったツールとしては、「友人などから聞いて」が２３．９％、次いで、「市広報９月１日号」が２２．０％と高い値となっています。

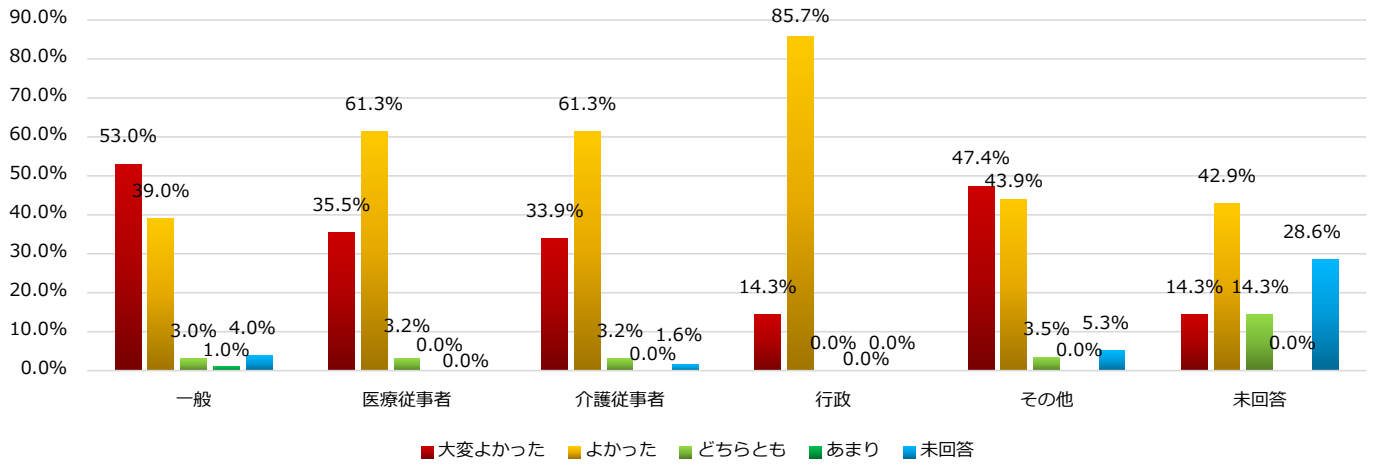
今後も、皆様のクチコミにつなげていただけるよう、興味・関心を引き出せるようなチラシの作成、効果的なＰＲ活動に注力するとともに、多くの方にお知らせしたい内容については、広報を活用していくことがとても有効と考えられますので、今後も引き続き、積極的に広報を活用していきます。

全体としては、「チラシ」が３１．３％と最も高い値となっており、前述のクチコミにもつながる重要なツールと考えていますので、市民フォーラム等の内容の充実を図り、参加者満足度の向上を目指すとともに、その魅力をしっかりとお伝えできるようなチラシ作成に努めていきます。

また、より多くの方に知ってもらえるよう、その他様々な媒体、様々な場での啓発もしっかりと行っていきます。

２　本日のプログラム中、創作落語「天国からの手紙」については、いかがでしたか。

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	
一般	53.0%	39.0%	3.0%	1.0%	4.0%	100.0%
医療従事者	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
介護従事者	33.9%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6%	100.0%
行政	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	47.4%	43.9%	3.5%	0.0%	5.3%	100.0%
未回答	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	100.0%
全体	43.2%	49.2%	3.4%	0.4%	3.8%	100.0%



【事務局所感】

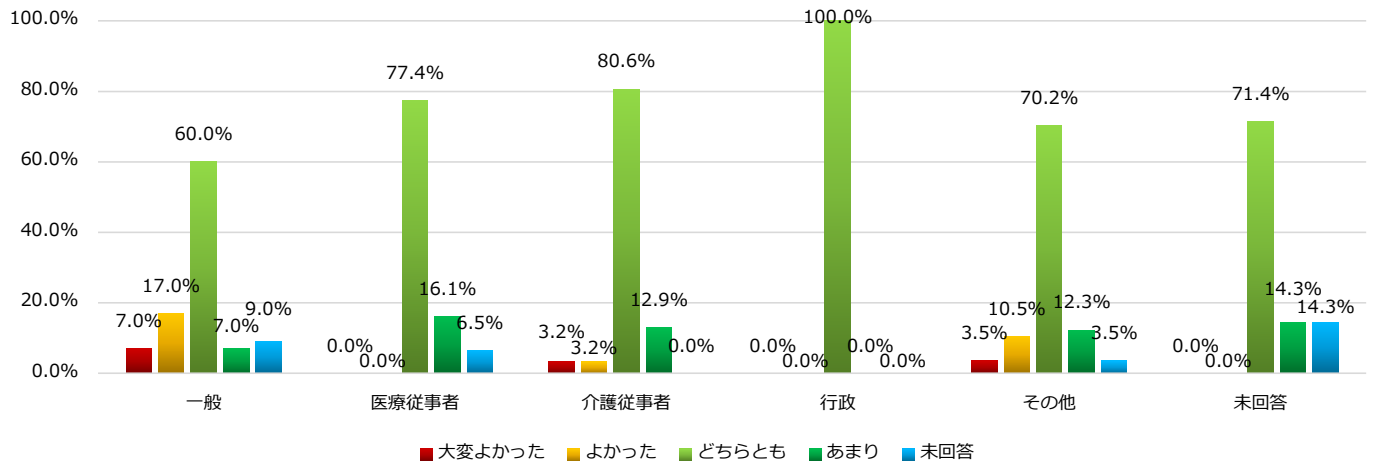
全体として、「大変よかった」、「よかった」の合計値が９２．４％と大変高い値となっています。

特に、一般の方の「大変よかった」は５３％と群を抜いており、地域住民への普及啓発事業における「手法」の重要性がうかがえます。

受講者満足度が大変高く、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、普及啓発手法の検討、講師調整等に努めていきます。

３　本日のプログラム中、第１部の中の「エンディングノートの説明」について、内容はいかがでしたか。

	大変難しい	難しい	丁度よい	易しい	未回答	
一般	7.0%	17.0%	60.0%	7.0%	9.0%	100.0%
医療従事者	0.0%	0.0%	77.4%	16.1%	6.5%	100.0%
介護従事者	3.2%	3.2%	80.6%	12.9%	0.0%	100.0%
行政	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	3.5%	10.5%	70.2%	12.3%	3.5%	100.0%
未回答	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	14.3%	100.0%
全体	4.2%	9.5%	70.5%	10.6%	5.3%	100.0%



【事務局所感】

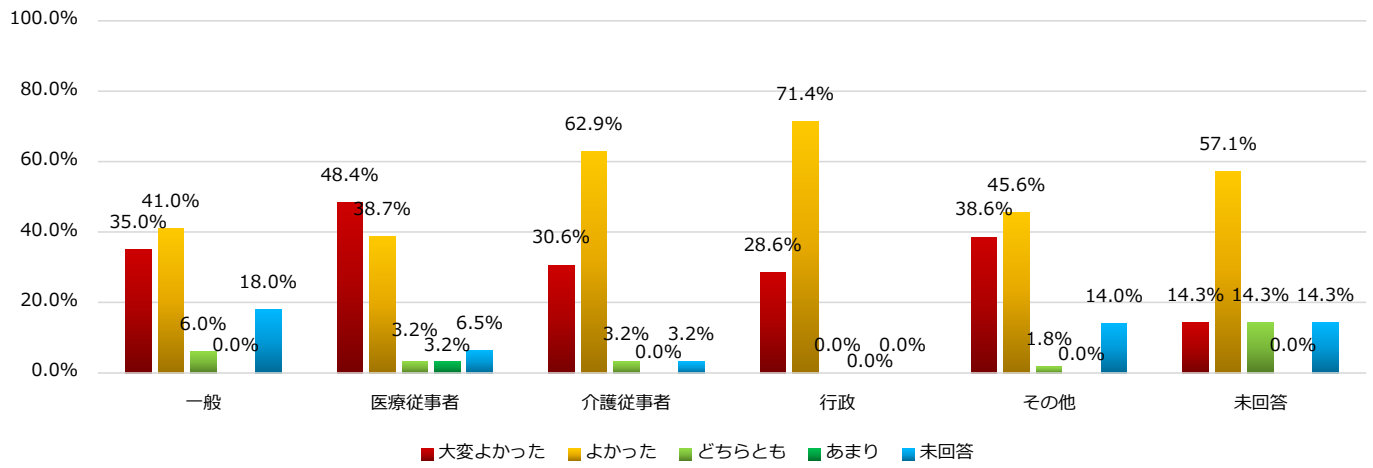
一般の方は、「大変難しい」、「難しい」の合計値が２４％となっており、比較的、難しいと感じる方の割合が高めとなっていますが、全体としては、「丁度よい」、「易しい」の合計値は８１．１％となっており、創作落語「天国からの手紙」の導入も、皆様の理解を進めたものと思います。

簡単ではないこと、理解が難しいことも中にはありますが、そういったことも含めて、多くの方に知っていただく機会を創出すること自体が本フォーラムの目的の一つとなっていますので、全ての方にとって「丁度よい」難易度とすることは難しいですが、難易度は適当であったと考えています。

今後も、「難しい内容」でも「分かりやすく」お伝えできるよう努めていきます。

４　本日のプログラム中､｢パネルディスカッション　～様々な立場から語る在宅看取りの実際～｣については、いかがでしたか。

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	
一般	35.0%	41.0%	6.0%	0.0%	18.0%	100.0%
医療従事者	48.4%	38.7%	3.2%	3.2%	6.5%	100.0%
介護従事者	30.6%	62.9%	3.2%	0.0%	3.2%	100.0%
行政	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	38.6%	45.6%	1.8%	0.0%	14.0%	100.0%
未回答	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%
全体	35.6%	48.1%	4.2%	0.4%	11.7%	100.0%



【事務局所感】

全体として、「大変よかった」、「よかった」の合計値は８３．７％と高い値となっています。

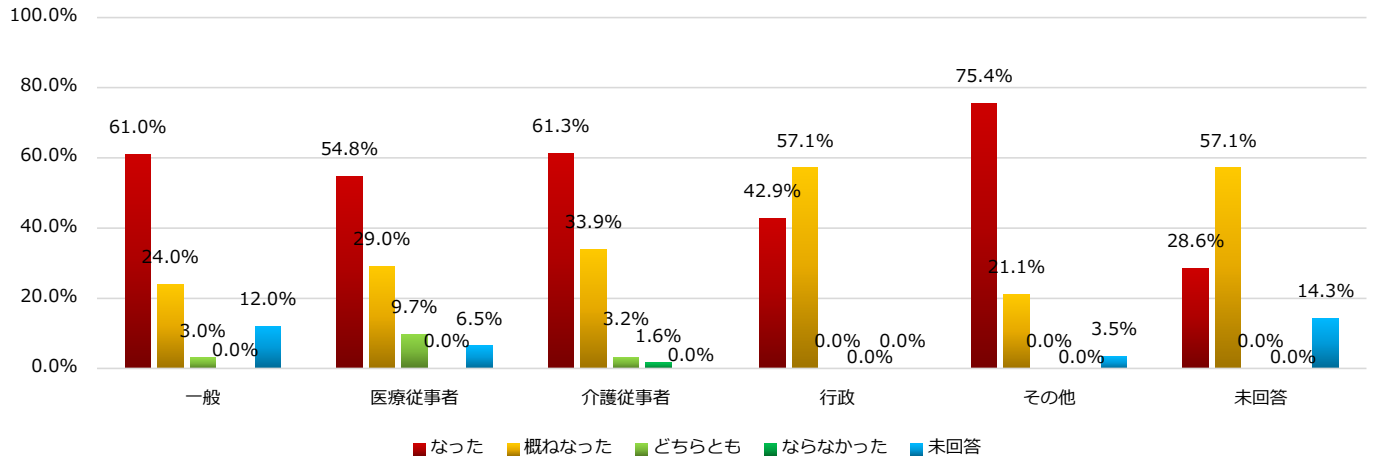
特に、医療従事者の「大変よかった」は４８．４％と群を抜いており、在宅看取り経験のある一般の方からの実体験に基づくエピソードが、多くの医療従事者の共感を得たものと思われます。

受講者満足度が高く､パネルディスカッションの実施にあたり協力いただいた皆様に心から感謝するとともに、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、講師調整等に努めていきます。

また、今回、一般の方（在宅看取り経験者）に協力いただけたように、今後のフォーラムでは、医療従事者、介護従事者、地域住民の方との「協働」について、より一層力を入れていきたいと考えています。

５　本日のフォーラムを通して、人生の終わりについて考えるきっかけとなりましたか。

	なった	概ねなった	どちらとも	ならなかった	未回答	
一般	61.0%	24.0%	3.0%	0.0%	12.0%	100.0%
医療従事者	54.8%	29.0%	9.7%	0.0%	6.5%	100.0%
介護従事者	61.3%	33.9%	3.2%	1.6%	0.0%	100.0%
行政	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	75.4%	21.1%	0.0%	0.0%	3.5%	100.0%
未回答	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
全体	62.1%	28.0%	3.0%	0.4%	6.4%	100.0%



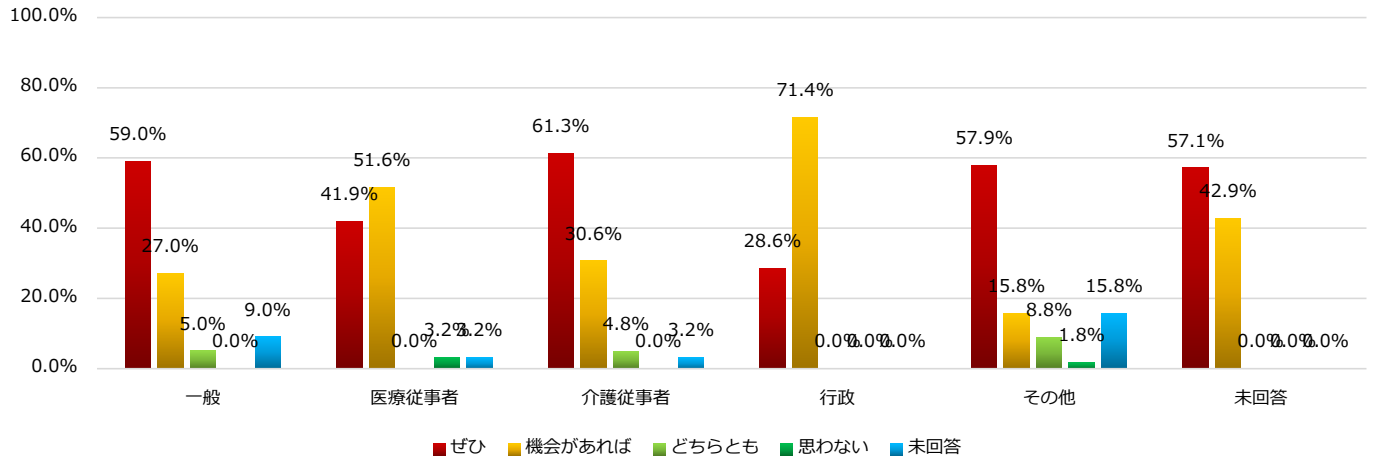
【事務局所感】

全体として、「なった」、「概ねなった」の合計値が９０．１％となっており、皆様の理解が促進され、多くの気づきを得る機会となったと考えられます。

受講者満足度が大変高く、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、普及啓発手法の検討、講師調整等を行うとともに、今後も、多くの方の理解が促進され、興味・関心を引き出すことができるような機会の創出に努めていきます。

６　本日配布されたエンディングノートについて、今後使ってみたいと思いますか。

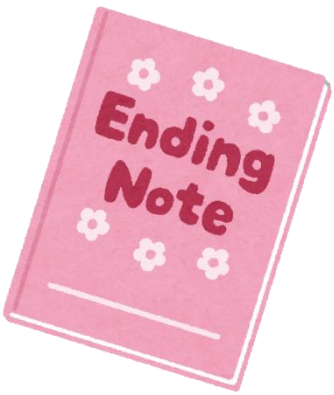
	ぜひ	機会があれば	どちらとも	思わない	未回答	
一般	59.0%	27.0%	5.0%	0.0%	9.0%	100.0%
医療従事者	41.9%	51.6%	0.0%	3.2%	3.2%	100.0%
介護従事者	61.3%	30.6%	4.8%	0.0%	3.2%	100.0%
行政	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	57.9%	15.8%	8.8%	1.8%	15.8%	100.0%
未回答	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	56.4%	29.9%	4.9%	0.8%	8.0%	100.0%



【事務局所感】

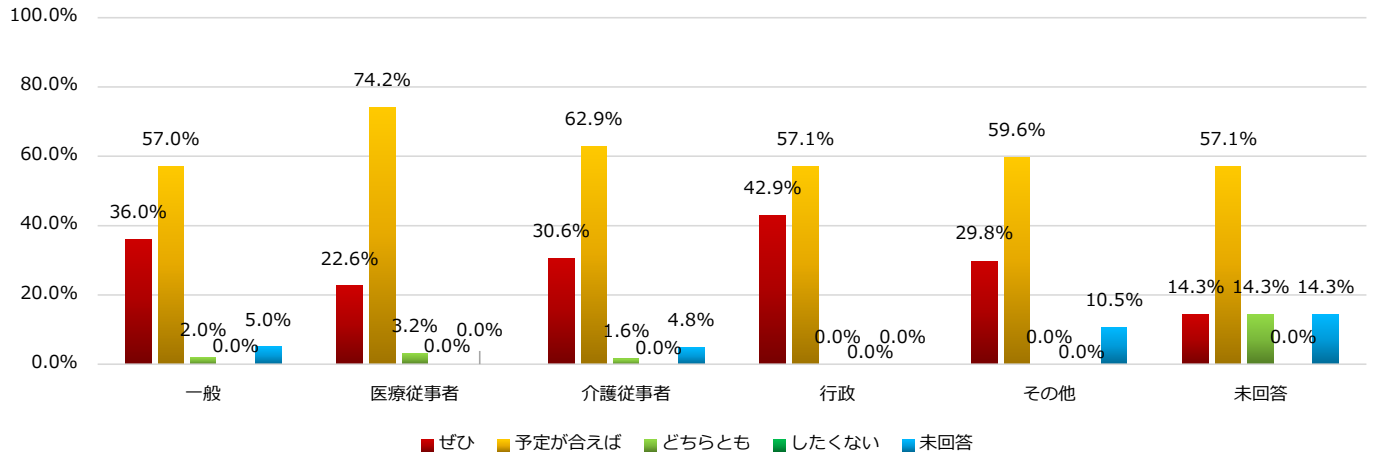
全体として、「ぜひ」、「機会があれば」の合計値が９４．４％となっており、大変高い値となっています。

豊川市内では、「エンディングノートが欲しい」といった反響が非常に大きく、増刷しなければならないほど地域の皆様の興味・関心が高かったため、今後も様々な機会を捉えて紹介していきたいと考えています。



７　次年度以降も、市民向けシンポジウム・フォーラム等の開催を予定しています。次回も参加したいと思いますか。

	ぜひ	予定が合えば	どちらとも	したくない	未回答	
一般	36.0%	57.0%	2.0%	0.0%	5.0%	100.0%
医療従事者	22.6%	74.2%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
介護従事者	30.6%	62.9%	1.6%	0.0%	4.8%	100.0%
行政	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	29.8%	59.6%	0.0%	0.0%	10.5%	100.0%
未回答	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%
全体	31.4%	61.0%	1.9%	0.0%	5.7%	100.0%



【事務局所感】

全体としては、「ぜひ」、「予定が合えば」の合計値が９２．４％となっており、参加者満足度が大変高く、次回参加への動機付けとしても効果的であったと考えられます。

一般の方についても、「ぜひ」、「予定が合えば」の合計値が９３％と高く、全体を通じて受け入れやすく感じていただけたものと思われます。

今後も、より一層、“次回も参加したい”、“ご家族、友人などにも広めたい”と思っていただけるようなフォーラム等の企画・運営に努めていきます。

【記述回答部分】（順不同）

（１）本フォーラムに参加して、あなた自身が新たに気づいたことや、今後、こうしてみようと感じたことなどについて自由に記載してください。

○エンディングノートや遺言書は書いておこうと思います。

○エンディングノートは、自分にとっても、家族にとっても、大変必要だと思いました。しっかりしているうちに気構えを持って生きていくことが必要と思いました。

○今、元気で毎日を送っているので、終活の準備をと考えました。

○かかりつけ医が親身になってくれるかどうか不安があります。私の周囲の環境では、家族の負担を考えると、在宅介護は困難です。

○大変良い企画のフォーラムでした。

○「終活」に関心を持っている人が多いことに驚きました。

○人生の終わりをどこで迎えるのかを、改めて真剣に考える良い機会となりました。また、最後まで元気でいたいという願望が、より強くなりました。

○必要のないものは早めに捨てます。今後はバリアフリーの家に住もうと思います。

○高齢の母（現在９６歳・要介護２）の介護中です。これから先、介護施設か自宅か、とっても悩んでいます。在宅医療の話を聞き、利用方法なども知ったので、母としっかり話し合いたいと思います。

○まだ、先のことと思っていましたが、やはり、このように機会があれば必要なこと、自分のため、家族のために生きるヒントをいただきました。

○今朝の新聞で申込み、参加できて良かったです。エンディングのことを考えてはいたけれど、良い機会となり、嬉しかったです。

○配偶者の看取りについて知りたいと思いました。

○高齢化が進んで、病院や施設に入所できなくなり、自宅介護で看取ることが増えてくるのでは、と思います。

○私は介護経験者ですが、本人が自宅に帰りたくても、病状によっては無理です。在宅介護の経験もありますが、私の場合は大変で、最後は病院での看取りとなりました。何事も経験者でなければわからないことです。

○長い間（４５年間）住み慣れた静岡を離れ、夫婦で子供（二人）の住んでいる豊川市に移ってきました。子どもたちとは一緒に住んでいませんが、最後のことについては、何も話していませんので、今日のお話を聞き、子供といろいろ話してみようと思いました。ありがとうございました。

○エンディングノートをいただく予定で、市役所の介護高齢課に行き、今回のフォーラムを知り、ぜひ参加してみようと思い参加しました。今後も都合がつけば、継続して参加したいです。

○高齢の親と同居しています。子供は独立し、話し合うことが少ないので、何かメモ書きでもしておけば、役に立つことがあると思いました。

○人生の最後を考えることはつらいけど、自分のためにもがんばってみたいと思います。

○まだまだと思っていましたが、準備を早くしておくことの大切さを感じました。

○自分の思いを伝えることを、改めて考える機会をもらいました。年齢的に在宅看取りをしてもらう立場ですが、身内のことを考えると、実行に勇気が要ります。

○今までは、なかなか家族と話す機会がなかったが、これを機会に話し合いたいと思います。

○よい講演だったと思います。今日、いただいたエンディングノートをさっそく書きたいと思います。落語もよくわかり、上手でした。

○これからの生活を考えなくてはいけないと思いました。

○創作落語「天国からの手紙」の中で想いを伝えるためには、言葉が必要であることがよくわかりました。言葉を残すためには、エンディングノートです。

○高齢になってきたので、子供（娘）二人と介護の件等について、よく話し合う必要を感じました。

○在宅医療のシステムがよくわからないです。

○もっと勉強して、主人を送ればよかったと後悔しています。

○自身の寿命がわからないので、いろいろなことを思ってもなかなか進まないです。

○娘と二世帯に住む者ですが、住んでいる土地について参加になりました。いろいろ考えたいと思いました。在宅医療について、大変よくわかり勉強になりました。

○「生きる」良い言葉ですね。３年前、６２歳で、元気だった自分が大病をしました。３年経ち、やっと「死」について、落ち着いて考えられるようになりました。今日は、良い話をありがとうございました。

○在宅看取りの経験者のお話をお聞きして、家族の方々ががんばった状態はすごいと思いました。家族の人数もある程度いらっしゃったので、それもよかったと思いました。在宅介護の実際を少し理解できました。

○まだ実感がわかないです。自分のためにやった方が良いと思いました。家族愛が大切なことだと思いました。悲しみはなかったと聞いて涙が出ました。苦しいとかではなく、自宅へ戻りたいと気持ちがわかります。

○とても参考になり、自分自身をしっかり考えてみようと改めて思いました。

○訪問看護、訪問診療について、もっと勉強したいです。

○１０年間介護をし、体調悪くなり（目覚ましで１時と４時に起きて、下の世話）、７年間施設でお手伝いしたので、理解はよくできました。エンディングノートの件も、さっそく取りかかっていきたいと思います。

○そろそろ身の回りや金銭の整理などした方が良いと思いました。娘二人に残しておけることなど用意しておこうと思いました。

○人それぞれ生き方が違うように、死に方もそれぞれ違うゆえ、最期に生きてよかったということが言えるように、これからも、生き方を大切にしたいし、老いた自分自身の親にもそれが言えるように見守っていきたいです。

○終活については、折に触れ、主人と話し合うことがあります。子どもたちにも、その考えを伝えています。

○今回は御津ですが、他の地区でも開催してほしいです。

○自分自身についてもそうですが、家族（両親）の気持ちを、ぜひ確認したいと思いました。

○家族内のコミュニケーションの大切さがわかりました。また、自分らしくその人らしさを考えることで、幸せにつながると感じました。

○看取りの体験談が聞けて、とても良かったです。

○医療従事者として、サービスを組み立てたり提供する側なので、自宅で看取った方のお話がとて

も印象的で、ご家族の気持ちが少し理解できて良かったと思います。

○エンディングノートの意義について、認識を変えることができました。自分と向き合ってみることが大切だと思いました。

○在宅医療に携わっている者としては、普通だと思っていても、まだ在宅医療が普及していない現状では、知識や情報が少ないです。このように、経験者の話や在宅医療のことを対話の中で、紹介すると、地域の方々もわかりやすくて良かったと思います。

○身近に相談できる公的機関があることを知り、安心しました。家族に、これからは自分の意思表示をしっかりしていきたいと思いました。

○エンディングノートについて以前より深く知りたいと思っていたので、本日参加し、良かったです。私は残される人のことを思い、必ず準備します。また、家族とも話し合っておきます。

○必ず訪れる死について、まだ、これから母の介護が必要な時期が来ます。面と向かって話をするのは難しいこともありますが、エンディングノートを利用し、気持ちを汲み取れたらと思いました。生きること、自分自身も考えていきたいと思います。ありがとうございました。

○現在、持病があり、死に隣接しているものなので、受け入れながら生活していきたいです。

○自分と家族の現在と過去、未来を考える良い機会となりました。

○３年の間に、父、母を続けて亡くし、父は何を思っていたのか、母は私たちに何をしてほしいと思っていたのか考えることがありました。二人の娘たちにも、私の気持ち、希望を明確に伝えることの大切さを感じました。今日、伝えるということの大切さがわかりました。

○経験者の話は、一般市民の方がこれから迎えるかもしれない介護について考えるきっかけになったり、良かったのではないでしょうか。落語は、皆が楽しめて、耳に入ってくるもので、とても楽しませていただくとともに、頭にスーっと入ってくる内容で良かったです。

○母にエンディングノートの活用を勧めます。私は、自宅で看取りたい、看取ってもらいたいと思います。

○今まで書いていたことを見直しをしてみたいと思います。

○家族の中のコミュニケーションが大切だと感じました。

○家族に意思をちゃんと伝えておくことが大事だと思いました。

○落語で楽しく学べました。自分の思いを伝えることと今後をより良く生きるため、ぜひ、エンディングノートを使ってみます。生活を支える医療、在宅医療について、改めて考える機会となりました。

○自分自身の生活の見直しをしていきたいと思いました。また、生き方についても考えたいと思います。

○エンディングノートを活用してみたいです。自分を見つめ直したいと改めて思いました。在宅医療について、各サービス事業者がチームを組んで支えてあげたい、本人の望む最期をサポートしてあげたいと思いました。

○お父様を看取ったパネリストの方の大変さ、揺れ動く介護の気持ちを、亡くなられたお父様と話し合いの中で、看取りをされる覚悟を決められました。親は、最期まで、子どものことを考え、それを悟って、がんばって介護できたパネリストの方の今後の人生に、生きる勇気を与えたと思います。お父様は、亡くなるまで息子のがんばっている姿を見せてもらえ、幸せだったのでしょう。

○今、母の介護が始まっていますが、実際、実家で母を最期まで看取れるか不安です。

○望むことは、それぞれ違い、本人、介護者（家族）と話し合い、考えていきたいです。エンディングノート、良いと思います。

○自分の思いを言葉に残しておくことの重要性を痛感しました。突然の怪我や病気など、自分は大丈夫と思っていても、思いも知れないことがあるかもしれないと考えさせられました。

○思いを伝えることを大切にしていきたいです（家族での食事会のときなどを利用したい）。いつも意識をして生きているのですが、形としては！

○ご本人様との話を繰り返し、気持ちを汲み取れるように心がけたいと思います。

○ぜひ、エンディングノートを利用する。また、親にも話をして、記入してもらおうと思いました。

○介護の仕事をしていると、当然知っている情報を、一般の方は、あまり知らないということがわかりました。考えるということを、常識にとらわれず、もっとすべきだと思います。

○自分が亡くなったあと、家族が困らないように、頭がしっかりしているうちに、少しずつノートを記入していく方が良いかと思いました。

○今日までなんとなく過ごしてきましたが、自分の人生を振り返って、言葉に残してみたくなりました。どうしても身内に面と向かってまじめに人生について話す機会はないし、照れくさくもあるけれど、文字にしておいたら伝えることができそうです。また、子どもたちに改めて家系の話をしたり、友人の話をすることも少ないので、こんな知り合いがいたのだとわかってもらえるチャンスなのかなと思いました。

○イントロダクションについての説明、説明者の自己紹介がほしかったです。創作落語、エンディングノートについて、暗い題材を身近に、明るく聞けてよかったです。内容もわかりやすく、勉強になりました。パネルディスカッションはケアマネジャーの参加があればさらに良かったです。

○看取りの経験をした家族の気持ちをディスカッションで聞けたことがよかったです。

（２）今後の市民向けシンポジウム・フォーラム等に望むことなど、ご記載ください。

○経験者の話は参考になりました。まだ、若い人が家族にいる場合は良いが、二人暮らしの場合などの経験談も聞きたいです。

○介護、施設、要介護度の決定方法等、具体的な施設入所方法等のフォーラムを希望します。

○今日のような企画を、度々開催されれば、ぜひ参加させていただきたいです。実際に看取った方のお話は本当に感銘を受けました。

○パネルディスカッションが上手に進行されて良かったです。

○自宅介護も大切だが、認知症になった親を自宅で看るようになると、自分たちの健康が心配になってきますが、市ではどのような対応を考えていますか。

○在宅医療について、その大変さをパネリストの方より聞きました。どの程度かかりつけ医師の診療が受けられるのか知りたいです。

○遺言書の書き方の具体例を教えてほしいです。

○老老介護について聞きたいです。

○医療と介護について詳しく知りたいです。

○今日のような講演など、回数を増やしてほしいと思います。

○認知症関連についてのフォーラムを開いていただきたいです。

○地域包括ケアシステムの重要さはわかるので、この地域で、どうしたらその地域ならではの包括ケアができるか話し合えるフォーラムが良いと思う。専門家だけでなく、市民参加型が良いと思います。

○死に至る段階は苦しく見えるけど、みんなのサポートがあるとわかってほしいです。若い世代には、先生に頼らなくても、自宅で死が迎えられることをわかってほしい。

○内容をインターネット等で配信する等、手軽に見られるようにすれば、多くの方にみていただけると思います。

○今回のパネリストの方のように体験されたことを発表する。

○介護・医療・障害など、利用できる制度がよりわかりやすく学べるシンポジウム・フォーラムをお願いいたします。

○精神障害者と、どのように接すれば良いのか。在宅医療を上手に利用するための方法について。難病や身体障害者手帳等、公的サービスの利用について知りたいです。

○頼ることができる兄弟、家族がいないので、兄の今後について、妹の私が、どこまで関わってあげたら良いかわかりません。（１０年後くらいには、体力が落ちてきたら心配です）

○家族のつながりは深いです。そして、我が家では、この先、知的障碍者がいるから、しっかりした考え方が必要になります。家族も含めて、路頭に迷うことが気になり心配です。

○夜の１８：３０～２０：００くらいに開催されると良いと思いました。

○ボランティア活動やサークルなど、いろいろと紹介してアピールしてほしいです。

○身内の介護の必要性やその要点についての勉強会と体験をすることが、今後の自分自身にとっても子どもへの教えとしても大切ではないでしょうか。

○これからも、今日のような内容の良いシンポジウム・フォーラムを希望します。

○元気な高齢者がもっとボランティアに参加できるような活動の場を作ってほしいです。

○今は、転入者の町内会未加入者が多いです。そのような人でも、困ったときは助けを求めてこられると戸惑ってしまうことがあります。生活共同体について考える機会になるようなものを望みます。

○今日のように、役に立つ情報をもっと多く開催してほしいです。

○いろいろな会場でやってほしいです。

○一人暮らしですが、どうすれば良いかわかりません。

○看取りの経験談をいくつか聞きたいと思いました。

○駐車場の案内が事前にあると良いと思いました。

○パソコン要約の画面が、もう少し高い位置で設置してほしい。下の方が前の人の頭で見にくいと感じました。

（３）その他の意見を自由に記載して下さい。

○有意義でした。この先を考えコロッと逝きたいです。遺言について、しっかり意志を伝えておく必要を感じました。

○私たちは、８０歳、８４歳の夫婦二人暮らしです。夫は、病弱で、もうヨロヨロしていますが、今のところ自分のことは自分でできています。最後は病院がいいです。家事は、すべて私にかかっています。私の年齢を考えると、先が不安です。まだ介護が必要な状態にはいたらないですが、いろいろ日常の不安を援助していただける方法があれば助かります。具体的には、病院への送迎や食事の援助などです。

○今回の講演があることは知りませんでした。各町村の市民会館などに配布をしてくださるとありがたいです。あまり外に出歩かないので、情報が不足しています。地元の市民館なら出向くことがあるので、ぜひ、資料（お知らせ、講演など）を置いてほしいです。

○人生の終わりに、自分自身がしっかりしなくてはいけないと思います。元気なうちに身のまわりのことをしっかり考えておきます。

○創作落語、良かったです。

○介護施設の充実をはかって下さい。入居費用も安く、家族の負担を少なくしてもらいたいです。

○いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。

○講師の方のわかりやすい解説とおもしろい落語、とてもわかりやすくおもしろかったです。また違ったエンディングの落語が聞きたいです。パネルディスカッション、初めてお話を聞けて、大変参考になりました。参加させていただき、とても感謝です。

○これからも参加したく思いました。

○在宅での看取りか、病院で最期を迎えるか。どちらにするか考えさせられました。パネリストの方のお話を聞き、大変だったことを思い、家族に迷惑かけたくない思いがしました。

○人生の終わりではなく、人生を満足したエンディングで迎えるためのフォーラム！！

○毎日大切に生活していきたいと思いました。ありがとう。ありがとう。ありがとう。今に感激して、ありがとうの言葉をたくさん言おうと思いました。

○ありがとうございました。現状の一端がわかりました。とても良かったです。

○人生最期のことが少しわかったような気がします。本日は、講演を聴けて、本当に良かったと思います。ありがとうございました。

○ＴＶで介護のシステムについて知りましたが、自分が元気なうちにできるお手伝いをポイントに換算し、将来お世話になる場合、そのポイントがいくらかでも利用できるのは理想です。

○９/２１の中日新聞記事には、要予約の記載がなかったので、予約せずに来ました。座れてよかったですが、必要ならばその記載をしてほしいです。

○２０２５年に向け、小中学校への教育をしてほしいです。

○実際の看取りを経験されたご家族のお話は貴重でした。本人のためにも、自分のためにも、在宅での看取り・介護には、前向きに考えないといけないことだと感じました。

○自宅で看取るためには、やはり、家族の介護力が大事だと思います。

○地域包括ケアシステムの構築として、地域、自分の住んでいる町内の行事等に積極的に参加して、関わりを持つことが、まずの第一歩スタートかなと感じました。

○パネリストの方のお父さんは、私が幼少時からお世話になった方でしたので、息子さんから詳細を伺い、お話の内容が映像に浮かぶので、本当に大変だったと感情移入してしまいました。ご自宅で苦しまずに亡くなられて良かったですね。私は、義母を自宅で看取りましたが、看病する家族にとっても、在宅の方が楽でした。病院で夜間も付き添い、交代制で付き添うことは、とても大変です。家事の間に介護ができるので、皆さんが思うよりも、在宅介護は、我が家にとっては楽でした。私は、看護師資格があり、家族指導できたことで、複数の身内で協力対策が持たれました。我が家も１か月あまりの在宅介護でしたが、内容の濃い時間でした。

○パネルディスカッションでのパネリストの方の実体験でのお話が聞けたこと、とても良かったです。すごくリアルでした。在宅看取りの中での迷い（家族の）、お父様との話し合いや、周囲の協力で乗り切れたという、とても印象に残るお話でした。ありがとうございました。

○親が山のほうに一人で住んでいるのですが、要介護です。その親の介護も、子どもたち（私たち）も皆、まだ働いているので、ヘルパーさんに来てもらっています。この先、豊川に住所を移して生活するか、山へ行って住んで介護するのが良いのか迷っています。ケアマネさんに相談してよい方法で介護していけたらと思います。

○ナビゲーション方式で、とてもわかりやすく、理解がしやすかったと感じました。

○フォーラム全体に手話通訳者と字幕が用意されたのにも、大変好感が持てました。パネルディスカッションも、とても参考になりました。ありがとうございました。

○この家族でよかったと思えるように、絆を大切にしたいです。家族全員が、生ある限り必ず死があるということを知る必要があると思いました。

○フォーラムに参加させていただき、ありがとうございました。介護保険、福祉サービス等、いろいろと充実してきていますが、それらの内容を理解できずに、老後の不安を抱えて生きている高齢者が多くみえるのではないかと思います。若い人と同居していれば情報も入りやすいと思いますが、高齢者のみの世帯に対して介護や福祉の制度を理解してもらうための働きかけが、今後もっともっと必要と思われます。

○人はだれでも終わりがあることを考え、その対策をとることの大切さを考えておくことが必要です。

○パネリストの方の話は、真実味があって感銘を受けました。

○８０歳を過ぎ、心身の衰えを痛感するようになりました。そのため、考えることは、人生の終末を悔い少なく送ることばかりです。最近は、釈迦の教えを学ぶ気持ちになり、仏教書を読むようになりました。本フォーラムが、さらに多くの人々に良い機会を与えられることを願っています。

○今日の話には関係ないのですが、豊川市民病院のエレベーターが狭すぎると思います。１か月くらい車椅子生活しましたが、なかなかエレベーターに乗れなかったです。

○３０～４０年後には、１/３が後期高齢者になる。社会保障費をどうするのか。負担をかけないようにするにはどうするのか。

アンケートへのご協力、
ありがとうございました。